



商 工 会 報

あ ち

第 60 号

発行 阿智村商工会
電話0265-43-2241

編集 会報編集委員会

印刷 龍共印刷(株)



協定書を交わす中山会長(右)と吉田会長(中央)、佐々木支所長(左)

二つには、補助金依存度の高い商工会への補助が国・県・市町村の財政状況が逼迫して多くを望めないこと。

三つには、市町村の行政合併が目前にきていること等があげられます。

特に、長野県では、平成十四年度に、小規模企業支援システムを抜本的に見直すべく、「小規模企業支援のあり方検討委員会」を設置して検討した結果、平成十五年度には県補助金の大幅な削減あるいは見直しがありました。さらに、平成十六年度から十八年度までの

三ヶ年を改革助走期間として、商工会を一定の規模にするよう合併・連携・統合を図っていきなさいというものです。

このように、長い間、地域の核として活躍してまいりました商工会も大きな節目を迎えており、反面、変革をしなければならぬ時期にきていることも事実であります。

その中にあり、会員様をはじめ役職員の皆様のご理解のもと、県下に先駆けて貴商工会と清内路村商工会の広域連携が四月一日からスタート致しました。この広域連携とは商工会が行っている事業の中に、企業の皆様の経営を指導助言する「経営改善普及事業」と称する県の補助金がありますが、この部分を幾つかの商工会が連携をして効率良く事業を行うというものです。

今後、会員企業の皆様への指導助言の部分でご迷惑をおかけする場合もあろうかと思われませんが、商工会を取巻く環境の変化等の背景をご推察いただき、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

今年から

清内路との広域連携始まる

西部地区全体の広域連携の動きも

長野県商工会連合会
南信支所長

佐々木信高

阿智村商工会は三月二十四日調印を交わし、十六年度から清内路村商工会と広域連携体制に移行した。

しかしながら、四十数年経過した今日、商工会を取巻く環境は大きく変わりつつあります。

このように、長い間、地域の核として活躍してまいりました商工会も大きな節目を迎えており、反面、変革をしなければならぬ時期にきていることも事実であります。

商工会は、昭和三十五年「商工会の組織等に関する法律」に基づいて全国の市町村に設置され、以来、中小零細企業の経営指導また地域の振興に役だってまいりました。

企業の下上げを主目的としていた「中小企業基本法」が、平成十一年に改正されて、新規創業・経営革新をする企業への応援を主目的とする内容になったこと。

その中にあり、会員様をはじめ役職員の皆様のご理解のもと、県下に先駆けて貴商工会と清内路村商工会の広域連携が四月一日からスタート致しました。この広域連携とは商工会が行っている事業の中に、企業の皆様の経営を指導助言する「経営改善普及事業」と称する県の補助金がありま

連携を順風に

阿智村商工会長 中山 公道

広域連携は、県の補助金改革の下で最良の選択と思う。県下に先駆けた広域連携を、会員の為の商工会づくりに向けた順風と受け止めています。

阿智は西部地区の要としての使命もあります。会員のご理解・ご協力をいただきながら、広域連携の利点の享受を考えています。

連携を期待して

清内路村商工会長 吉田 一彦

今回の広域連携については、清内路村商工会にとっては、今まで単独では実施できなかった事業も連携を取ることにより参加できるようになり、会員の選択の幅も広がってくると思えます。

また、両地域の会員企業にとっても効果的な事業の実施に期待しています。

9月に加入促進

～貯蓄・生命保障・融資～



第 44 回 通常 総 会

清内路村商工会と広域連携に取り組む 新たな商工会づくりと、より良い地域づくり

当会の通常総会は、去る5月17日に阿智村商工会館において、多くの来賓を迎えて盛大に開催され、15年度事業報告、

収支決算、平成16年度事業計画、収支予算など提出議案総て原案どおり承認されました。



永年勤続25年表彰を受ける小松義典さん

平成十五年度は、経営改善普及事業の充実、広域指導体制を確立し、今年より広域連携に取り組み清内路村商工会と手を携え七項目を重点事業として積極的に取り組んでいくことが確認されました。議事に続いて、永年勤続優良従業員他の表彰が行われ、五十五名の皆様が受賞されました。

- ★勤続二十五年 (敬称略・順不同)
- 小松 義典 (阿智生コン)
- ★勤続二十年
- 細江 敏雄 (湯元ホテル阿智川)
 - 河手 智 (小笠原鉄工)
 - 小笠原美奈穂 ()
 - 村上 茂 (石苔亭いしだ)
 - 村沢 好雄 (阿智工務店)
- ★勤続十五年
- 渡辺 賢一 (南信土木建築)
 - 桜井 久 (阿智生コン)
 - 新木 則昭 (湯元ホテル阿智川)
 - 山口 秀之 ()
 - 藤沢 英敏 (小笠原鉄工)
 - 野中 永生 ()
 - 村上志津江 (石苔亭いしだ)
 - 熊谷 恵子 (阿智開発公社)
- 長野県商工会連合会会長表彰

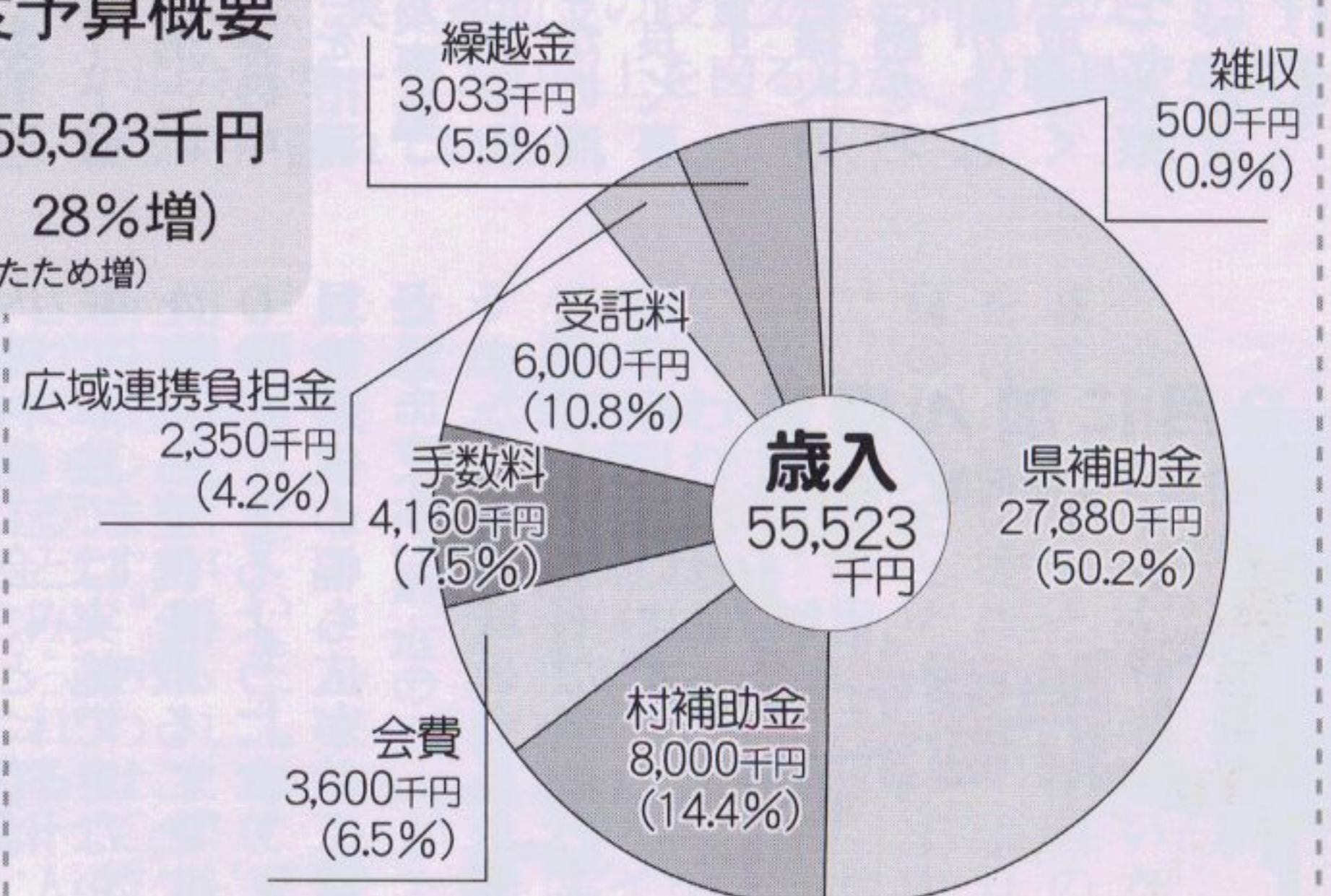
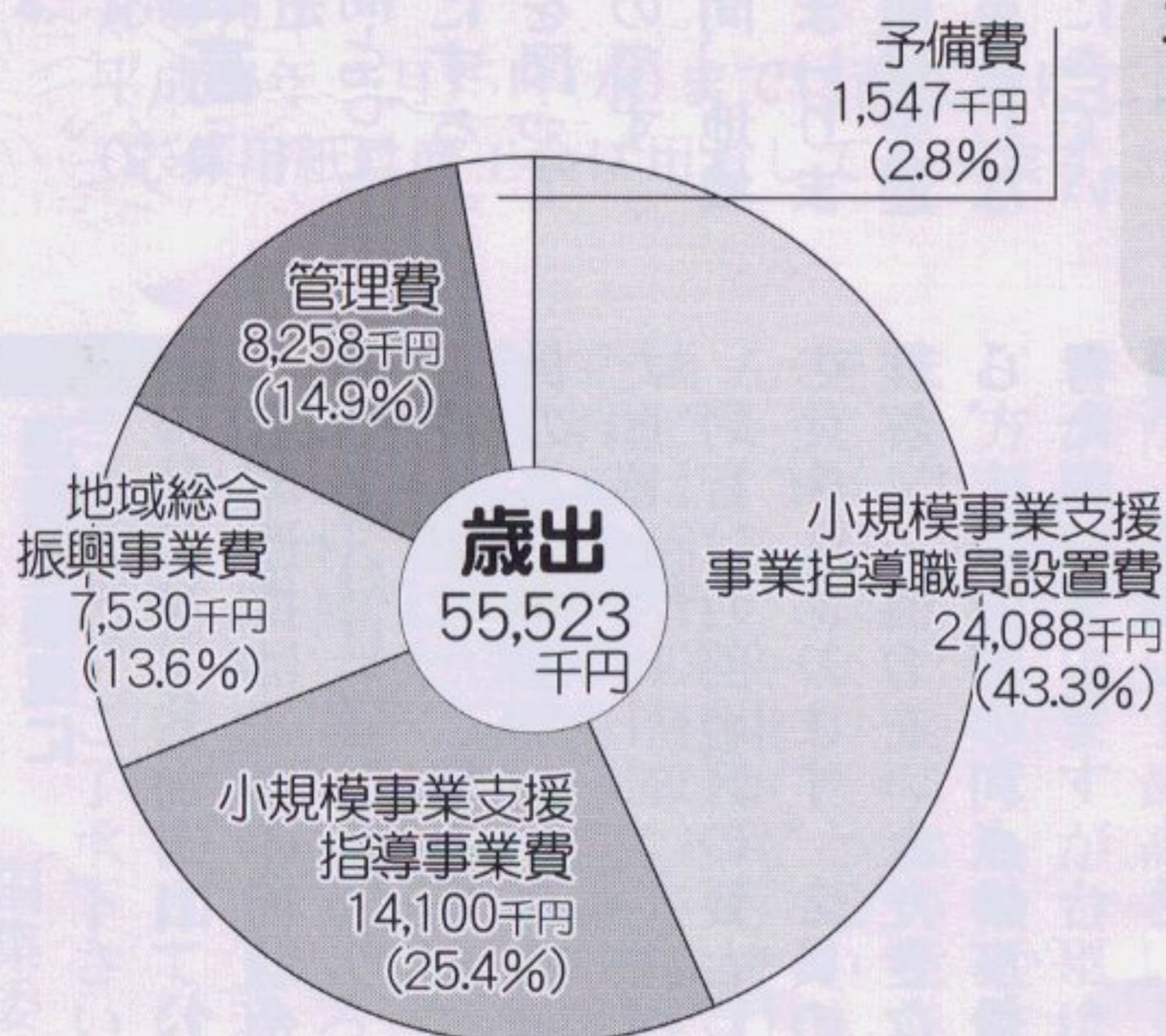
平成16年度事業計画 (重点事業)

1. 経営改善普及事業の充実
2. 地域経済活性化事業の推進
3. 組織強化と財政基盤の強化
4. 広域指導体制と新たな広域連携での事業の推進
5. 「商工会4大改革」に基づく事業の推進
6. 新会員の加入による組織率の向上
7. 商工貯蓄共済の普及推進

- ★勤続十年
- 高坂 桂子 (清風苑)
 - 富田利恵子 ()
 - 下平 正人 ()
 - 渋谷 良子 (野熊の庄月川)
 - 野村 龍雄 (青木屋)
 - 熊谷 繁 ()
 - 牧島 政三 (恵山)
 - 鈴木 秀和 ()
 - 大平 高明 ()
 - 竹内 豊子 ()
 - 中平 寛志 (湯元ホテル阿智川)
 - 近藤まゆみ ()
 - 岡本 弘行 (小笠原鉄工)
 - 長田 政利 (石苔亭いしだ)
 - 橋本 正章 ()
 - 新保 賢一 ()
 - 渋谷 晃一 (阿智工務店)
 - 原 邦彦 ()
- ★勤続五年
- 山岸 町子 (清風苑)
 - 塩沢 友紀 (昼神ランドホテル天心)
 - 松下 裕香 (ささき薬局)
 - 村沢 民子 (タケダ化工)
 - 佐々木久由 ()
 - 塩沢多恵子 (阿智生コン)
 - 伊藤 博 (湯元ホテル阿智川)
 - 大村由美子 ()
 - 鋤柄智恵子 ()
 - 平栗 文子 ()
 - 神部 重芳 (ヘンズそのはら)
 - 林 稔 ()
 - 遠山 明 (阿智開発公社)

平成16年度予算概要

予算総額 55,523千円
(前年対比 28%増)
(広域連携したため増)



自立プランの重点施策

村 昼神温泉を核に交流人口拡大を 水上宗光

経済活性化課長

大手企業は好決算となり景気が回復したように報道されていますが、農村部の中小企業まではまだまだ回復していませんと言っている人もいます。あなたの企業ではどうでしょうか。

村は自立プランの中で産業振興を最重点施策として、昼神温泉を核に交流人口を拡大し、観光を柱に他産業と有機的に連携しながら振興を図る

こととしています。

昼神温泉で稼ぐ外貨を地域内で循環し、経済で自立する村を目指したいと考えています。村で生産されるものは村で消費することや、各地域にある宝物、伍和のアルプスの見える風景、駒場の街並み、園原の史跡など案内していく仕組みを作り、行うこととしています。

このため庁内の組織の見直し

しも行い、経済活性化課が担当することとなりました。従来行政は、平等・公平という原則の中で、やる気のある皆さんのお手伝いができなかった訳ですが、こうした壁を越えたいと考えています。

高齢化が進む中で、若い世代を引き上げ、若手経営者を育てることが急務かと思えます。一人一人の会員の皆さんの主体的な取り組み、参加をお願いします。

街などを視察

- (1) 地域通貨の研究 「商業の活性化と地産地消に通ずる地域通貨の方策の研究」
- (2) 四つ角周辺の環境整備支援 「駒場四つ角周辺の環境整備と商店街活性化の研究」
- (3) 観光業振興事業 「小規模旅館の活性化策の研究」
- (4) 小売業等活性化セミナー「販売促進策及びポイント事業に関するセミナーの開催」
- (5) などを予定しています。

商業・サービス業

十六年度の事業が決定

業種ごとにセミナー、視察・調査研究を

部長 熊谷智徳

部会を担当し、二年目を迎えました。部会の運営及び事業の実施に当たり、ご理解・ご協力をいただいた皆様方から心からお礼申し上げます。

担当して以来出来る限り業種毎に目的を絞り、事業を実施するよう努めて参りました。

今日の厳しい経営環境の下では、業種毎に質の高い事業の実施が急務と考えます。又、業種的により結束を強化して、様々な課題を克服することが

大切と考えます。力不足ですが精一杯取り組みますので参加協力をお願い申し上げます。

ところで、七月六日部会を開催し、本年度の具体的な実施事業を決定致しました。業種による健康管理セミナーと、中学生が育てた花の配布等は既に実施しましたが、これから実施予定の主な事業を次の通りご紹介いたします。

- (1) 視察研修会 「店舗づくりをテーマに巣鴨地藏通り商店

総務

任期中一度の親睦旅行

部長 大下晃平

の円山応挙の障壁画等も見学しました。

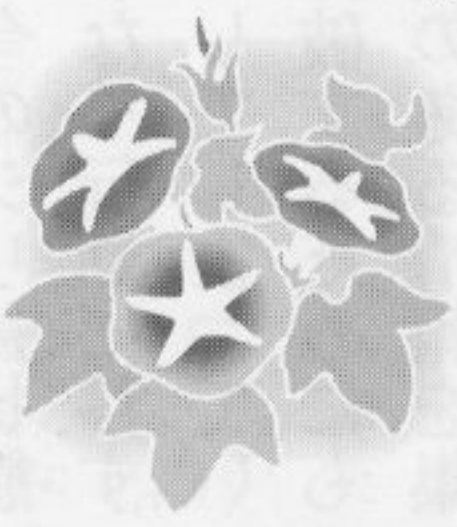
今年も暑い夏がやって来ました。会員の皆様にご協力いただいた阿智の夏祭りの大煙火大会も、七月三十一日に迫って来ました。番付の厚さと中身も昨年より充実しています。時代と共に祭りも変わって来ましたが、農休み祇園祭りを楽しみにした頃を思いだしている人もいるのではないのでしょうか。

時代が変わっても伝統は大切にしたいものです。総務部会事業として貯蓄共済推進、会員親睦会、商工祭などを予定しています。五回目を迎える商工祭では、清内路との広域連携で新しい商工会作りが進められる中での開催になります。阿智村商工会として何かメインになるものを考えています。八月より準備に入りたいと思いますので、ご意見やご提案をお願いします。



天橋立を背景にして

総務部会担当の役員研修会を六月十八、十九日実施致しました。福井県小浜市では、日頃何気なく毎日お世話になっている箸の文化と、箸製造を伝統産業として守り続け、観光資源に結び付けた小さな工房施設の繁盛振りを視察。天橋立、茶髪ミニスカート姿が見当たらない外湯めぐりの城崎温泉、強風で電車が転落した余部の鉄橋、亀居山大乗寺



工業・建設業

工業・建設業
部会の今年度の取り組み

副部長 林 和 男

景気は上向きというものの、一向に先の見えない状態が続いている。当地方景気に対し、今後どのように取り組んでいくのかと試行錯誤している毎日である。特に建設関連はひどいものであるが、一部の建設関連業者は勝ち残りを目指して異業種参入や業種改革を果たしている。

特に今年度はこのような革新的取り組みを積極的に取り入れている。当飯伊地方建設関

連業者の社長さんにそのプロセスをお聞きして、その方法を我々弱小零細業者が少しでも参入していけるよう研究を重ねていきたい。また村内業者でも取り組みされていく業者があればバックアップを行える体制を整えていきたい。もう一点として次の時代を担ってもらう後継者を育てていくためにも斬新なアイデア、アイデンティティーを現在の経営者は持たなくてはならない

青年部

将来を担う若き青年部員

今年からTシャツに若さを込めて活動を

青年部長 田 原 健 一

本年度新たに四名の頼もしい若者に加入頂きました。私的の消防団活動も終わりましたので、事業を更に充実させ、部員同士の親交を深め、また住民の皆さんに頼って頂ける存在になりたいと思っております。

本年度事業の展望ですが、具体的には恒例の事業をなぞる形で、奉仕活動としてカーブミラー清掃を行ったのを皮

切りに、阿智の夏祭り、療護園の夏と秋のふれ愛カーニバルへの参加、商工祭等の地域振興事業のほか、自己研鑽のためのパソコン研修会を二回以上実施して行くところです。また、本年度は部員の一体感と部のPRを含め、オリジナルTシャツを作成しました。デザインの得意な片桐君による独創的なものができ、他の部員も満足しています。

と思うが、今のジリ貧状態の中で目標もなく行動に移す勇気すらなくしてしまっている。これを打破するためにも広く多く元気のある情報を集めなければならぬ。そのため元気のある地方の工場、会社、新製品展示会等の視察をし、自社への導入を図ること

で活力を回復させていきたい。また商工祭においても元気の出る展示、村民が喜んで一緒に参加してくれるようなイベントを実行していきたい。今年度は積極的にこれらの事業を行っていききたいと思います。

このTシャツをユニフォームとしてバザー等の事業を実施し、また皆さんを楽しませるダンスも披露していきたいと思っております。



スタッフシャツのお披露目

女性部

和を大切に

女性部長 堀 本 良 子

二年目が始まりました。五月二十五日の役員会で平成十六年度の事業計画について話し合い昨年同様、便利大学、ボランティア、研修旅行、勉強会、そしてメインとなる商工祭への参加を決めました。各担当者の号令のもと、今年度も元気の

躍が大いに期待されます。六月二十三日、昼神の療護園へボランティア活動に行き、車イスの掃除をさせて頂きました。入所者の方々へ声をかけながら、皆の熱意で、あつと言う間に作業を終え、改めて健康体でいられる事に心から感謝を致しました。そして七月十三日、ボーリング大会を行い、皆で女学生(?)にもどった気分が重いボールとの奮闘を楽しみました。汗をかいた後の夕食会では、冷たいビールが、あくおいしかったです!

下伊那商工会女性部の街角クリニックが八月十日〜十一日に昼神の盆踊りに合わせて行われました。阿智村で行われるのは初めてで、地元の方達だけでなく、昼神へ遊びに



街角クリニックで交流を

来られた県外の皆様方にも私達の活動をアピールする事が出来て、とても良い経験になりました。九月八日日間賀島への研修旅行が計画されています。部員同志の親睦を図り、おいしい海の幸を堪能していきたいと思しますのでご参加下さい。十月には便利大学、十一月には商工祭があります。女性部が愛情を込めて作る「おにぎり、おでん、とん汁」は毎年好評で商工祭にはなくてはならないものとなりました。参加してみませんか!?

企業探訪

No.52 (新会員紹介)

有限会社 あちの里

- <住 所> 阿智村伍和5571-1(原の平)
- <代 表 者> 河合 政好 (昭和26年11月19日生)
- <創 業> 平成16年 4月 1日
- <資 本 金> 360万円
- <目 的> 食品の加工販売
- <社名の由来> (有)あちの里を優良企業に育て、阿智村の知名度を高めたい。
- <従 業 員> 7名 (繁忙期にはパートも雇用)

農村の阿智村は農産物を商品化し、それを消費者に届けるシステムを確立する事。それが村の活性化の鍵と考えます。

幸い以前から伍和地区の農家の皆様方が、農産物の生産と加工を結びつけようと試みて来ています。今回その意思を引き継ぎ、加工部門と販売部門に挑戦する事に致しました。

阿智村ではお米の他に、りんご、なし、トマト、茗荷など多くの農産物が生産されています。(有)あちの里は生産者との繋がりを大切にし、地元の農家で作られた農産物の商品化を図り、消費者に安全で良質の食品をお届けする。つまり、生産者側の顔が消費者に見える形に徹したいと考えます。

現在主力商品の一つであるトマトジュースは、20軒の農家に委託栽培したトマトを使用しています。製品は昼神のホテルや近隣の道の駅などで販売しているが、販路は徐々に拡大基調です。

いずれにしても、堅実経営に努めながら企業力を付け、農産物加工関連の中堅企業を目指すと同時に、地産地消構想推進の一翼を担えればと思っています。

(河合社長さんの声)



(有)あちの里の外観



ブルーベリージュースのビン詰作業



(有)あちの里で作られるジュースやお味噌等の製品



笑顔の親睦会 (伍和支会)

副支会長 井原 良徳

支会恒例の会員・家族・

特産品コーナーの草餅

従業員の親睦会で三月八日、十八名が本県で桜の開花が一番早い遠山谷を訪れました。龍泉閣の上原専務さんの運転で、車中楽しい観光案内を聞きながら龍泉閣に向かいました。龍泉閣は天龍村が第三セクター方式で建設した、温泉付ホテルやJR平岡駅舎、特産品販売施設等を備えた白壁作りの四階建てです。

帰り道は 南信濃村の和田城見学や名物遠山ジギスなどの土産を買い、三遠南信自動車道路の視察をしながら無事戻り大変好評でした。

花火を支えてくれた方

花火部長 原 拓伸

今年も煙火大会が七月三十一日盛大に開催出来ました。煙火大会は長年商工会が中心的役割を担って来ましたが、徐々に多くの方の協力が得られるようになり、今年は自治会が初めて花火部長を務めました。

夜空を彩る花火は大きな打ち上げ音や、燃えカスの飛散、観客のゴミなど、打ち上げ現場周辺でなければ知り得ない多くの問題を伴います。今年も周辺の皆様には大変ご迷惑をおかけしたと思います。又、数多くの準備会議や現場確認、地権者との折衝などで、花火部の役員の方にも大変ご労苦をおかけしました。この場をお借りして心からお礼申し上げます。又、併せて、地域に愛される夏祭りとして、更なる発展を願っております。



工夫を凝らす番付編成作業



龍泉閣の前で笑顔



お礼と祈りを込めて

波田町で頑張っています

羽場崎潤一

三月三十一日をもって退職いたしました。平成十三年四月から三年間、皆様の温かいご指導とご厚情を励みとして勤務できましたことを心よりお礼申し上げます。

経営者である皆様から見れば知識が乏しく頼りない新米として私が目に映ったことと思います。手探りで対応する様はともお見苦しかったはずです。そんな場面が幾多と

ありましたが、その都度、励みとなる言葉をいただき頑張ることができました。

今年度商工会事業も半ば差し掛かった頃かと思えます。会員の皆様により商工会を役立てていただき、それぞれの経営に活かしていただければ幸いです。是非、古きを重んじまた新しく豊かな発想でご発展されることをお祈りしております。

阿智中

今年もお花が届けられました

プランター80個を31箇所に

七月二日阿智中学校で、花の引き渡しの会がありました。今年もベコニアのプランター

八十個をいただき、早速炎暑の中を役員で三十一箇所の店先に飾りました。

この花は阿智中学の生徒さんが商店街を明るくしようと、商工会に届けられるもので、今年で三年目になります。



花を受け取る商工会役員

総合的な学習「地域に花を飾ろうプロジェクト」として、緑化委員会が今年もプランターにベコニアを育て、花の見頃を迎えたこの時期に届けられたものです。夏休みには生徒さんによる追肥が予定されています。

助成事業に応募を!

チャレンジ起業支援事業

商工会では、16年度のチャレンジ起業支援事業の申し込みを受け付け中です。あなたの企画を是非ご応募下さい。審査により助成対象とする事業を選定させていただきます。

事業の概要は次の通りです。詳細は商工会にお問い合わせ下さい。

- 1. 応募資格**
村内の、個人・法人・団体等
- 2. 対象事業**
阿智村の活性化に資する起業や雇用創出事業などの企画です。(起業、地産地消の実践事業、環境整備事業等が考えられます。)
- 3. 助成対象経費**
事業実施に伴う経費で、講師謝金・資料費・調査研究費・原材料費等
- 4. 応募方法**
平成16年9月15日(水)までに商工会にご応募下さい。(応募用紙は商工会に用意してあります。)

指導カルテ

No.19

広域連携の背景

経営指導員 竹村正之

良い事と分かっているけれども、勇気を出して新しい事になかなか挑戦出来ないものです。

前回5Sのセミナーを受講して、すぐに実践した経営者を紹介したが、ゴミ箱に「護美箱」と書いて取り組むセンスの良さに感心した。管内で5Sを実践している事業所は数少ないようですが、経営効率向上の基本は5Sです。是非取り組んで下さい。様々な支援をさせていただきます。

ところで、今年から清内路村商工会との広域連携が始まりました。商工会の前途は課題山積の状況です。

現在会員30数名の商工会に補助金で指導員1名・補助員1名が設置され、会員270数名の商工会でも同じ数が設置されています。

行政からの補助金の削減問題が今回の広域連携の発端ですが、実は補助金の投資効率の問題なのです。いかに会員サービスの向上を図るのか、役職員で英知を絞る時が訪れています。

編集後記

会報六十号をお届けいたします。六十号という節目の回を迎え編集委員一同、より一層の会報をと努めていますので、御指導の程よろしくお願い致します。去る七月十一日に行われた参議院選挙、民主党の大躍進に終わった。イラク問題、年金関連の批判でいよいよ、小泉総理よろしくお願致します。最近のニュースでは曾我ひとみさん家族の様子が報道されています。早く家族団圓の生活が得られます様お祈り致します。あわせて拉致されているとみられる十人の方の消息の安否と帰国ができません様国に期待致します。

地球温暖化のせいでしょうか、異常気象というのでしょうか、観測史上最高という猛暑が続いています。台風は致し方がないとしても最近はいままでには記憶にない竜巻の発生が多くなったと思いませんか。この会報が発行された頃には阿智の夏まつりはすでにありますが、実行委員の皆様会員の皆様御協力ありがとうございました。良い夏まつりになる様願っています。我が家の秘蔵写真は休ませていただきます。ご了承下さい。

編集委員